

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名	川崎市		
高校入試 担当部署名	川崎市教育委員会事務局 学校教育部指導課		
TEL	044-200-3243	FAX	044-200-2853
URL	https://www.city.kawasaki.jp/880/index.html		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	高橋 清樹 (所属: 認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ)
--------	--------------------------------------

<全国一覧掲載情報>

I 全日制高校について				II 定時制高校について			
A.外国人生徒		B.中国帰国生徒等		C.外国人生徒		D.中国帰国生徒等	
A2.措置	A3.枠	B2.措置	B3.枠	C2.措置	C3.枠	D2.措置	D3.枠
○	×	○	×	○	×	○	×

調査した人から、関係者の皆さんへお知らせ

1.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できる場所	<p>ME-netのホームページ http://me-net.or.jp/ あーすプラザの外国人教育相談 http://www.earthplaza.jp/ep/forum/foreign_education/index.html 横浜市国際交流協会「外国人教育相談」 https://www.yokeweb.com/senmon 多文化学習活動センター(CEMLA) https://yaei-h.pen-kanagawa.ed.jp/cemla.html</p>
2.多言語による関連情報	<p>神奈川県教育委員会の下記URLに「公立高校入学のためのガイドブック」(10言語版)掲載 www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/nihongobogo.html</p>
3.その他	<p>特別入学枠として、「在県外国人等特別募集」の他、「海外帰国生徒特別募集」という募集もある。</p> <p>詳しくは上記「公立高校入学のためのガイドブック」の5ページ参照</p>

I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国帰国生徒等
1.2020年度中について、外国人生徒や中国帰国生徒等の在籍の有無		有	有
2-1.2021年度の一般入試において、外国人生徒もしくは中国帰国生徒等が受けられる入試特別措置の有無		○	○
2-1が有(○印)の場合その名称		海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検方法	あり(外国人生徒の措置を採用)
2-2.滞日年数制限		あり(来日6年以内)	あり(帰国6年以内)
2-3.措置の内容		時間延長(1.5倍まで)、問題文の漢字にふりがな、面接時にわかり易い言葉でゆっくり話す。	外国人生徒と同じ
3-1.2021年度の入試において、外国人生徒もしくは中国帰国生徒等を対象とした特別入学枠の有無		×	×
3-1が有(○印)の場合その名称			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか(定員数内で不合格を出さない内規等があるか)			
3-7.試験内容			
備考			

II 定時制高校について

		C.外国人生徒	D.中国帰国生徒等
1.2020年度中について、 外国人生徒や中国帰国生徒等の在籍の有無		有	有
2-1.2021年度の一般入試において、 外国人生徒もしくは中国帰国生徒等が 受けられる入試特別措置の有無		○	○
2-1が有(○印)の場合その名称		海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検 方法	あり(外国人生徒の措置を採用)
2-2.滞日年数制限		あり(来日6年以内)	あり(帰国6年以内)
2-3.措置の内容		時間延長(1.5倍まで)、問題文の漢字にふりがな、 面接時にわかり易い言葉でゆっくり話す。	外国人生徒と同じ
3-1.2021年度の入試において、外国人生徒もしく は中国帰国生徒等を対象とした特別入学枠の有無		×	×
3-1が有(○印)の場合その名称			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつそ の数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか)			
3-7.試験内容			
備考			

Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無	有
2.有の場合、その施策の内容	・個別に補習をする。 ・本人の希望により、定期考査の問題にルビをつける。 ・定時制のみ日本語指導員による補助あり。
3.2020年度の入試について、直接来日後の外国籍の受験者(外国において、学校教育における9年の課程を修了した者)の有無	把握せず
4.2019年度中に、直接来日後による編入学者の有無	把握せず

Ⅳ 日本国内にある外国人学校からの入学について

	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国人学校の中等部の卒業生について、一般の受験(受験)資格とは別に高校受験(受験)者資格を認めているか否か	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ①外国人学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国人学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	②	
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国人学校の中等部の卒業生について、一般の受験(受験)資格とは別に高校受験(受験)者資格を認めているか否か	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ①外国人学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国人学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	②	
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学卒での滞日年数制限について、日本国内にある外国人学校の在籍期間は、日本ででの在学期間を含むか否か	○	日本国内に住所がある期間は含む。ただし、米軍基地内に住居している場合は除く。
4.外国人学校の中等部の卒業生について、2020年度入試において受験(受験)希望があったか	○	人数は把握せず